

患者さんやご家族が十分に情報を収集し、理解したうえで治療方針を選ぶことは大切です。

今回紹介するのは



「重要な面談にのぞまれる患者さんご家族へ」 —聞きたいことをきちんと聞くために—

国立がん研究センター東病院
臨床開発センター 精神腫瘍学開発部 発行

です。このパンフレットには下記のような質問や 医師との面談の際、よく患者さんご家族が医師によく尋ねられる、「治療について」「生活について」などの質問の例が載っています。医師に疑問点や不安なことについて質問する際の参考になるとと思います。

診断について

- 1 診断名はなんですか？
- 2 病期（病気の進み具合）は？



病名について

- 3 私はどこがわるいのですか。/どのくらい深刻ですか？
- 4 がんはどこにあるのですか？
- 5 それはどの検査でわかったのですか？
- 6 今後どんな症状が起こりえますか？
- 7 今後起こりえる症状に対する治療にはどんなものがありますか？



すべて質問する必要はありません。
自分にとって大切な項目を
選んでください。



自分が分かっているかどうか、
確認のためにパンフレットを使っ
てもいいのね。

次回は「治療について」の質問を紹介します。



がんサロンのお知らせ

日時: 10月2日、10月20日、11月6日、11日17日 15時～16時

場所: センター棟4階 健康管理センター待合ホール

お問い合わせ 岡山赤十字病院 がん相談支援センター (2014年9月発行)